

鮎釣り日本一を目指して！

鮎マスターズ2005全国決勝大会



「鮎マスターズ2005全国決勝大会」(主催・ダイワ精工(株))が9月2日から3日間、桧木内川を会場に開催され、全国で3,000人の参加選手の中から勝ち上がった10人と、昨年度上位入賞者を合わせて16人が鮎釣り日本一を競い合いました。

予選を勝ち上がり決勝トーナメントに残ったのは、吉田健二選手(鳥取県)、伊藤正弘選手(岐阜県)、大島康郎選手(栃木県)、井辻健仁選手(京都府)の4人。準決勝の結果、3連覇を狙う伊藤選手と初優勝をかけた吉田

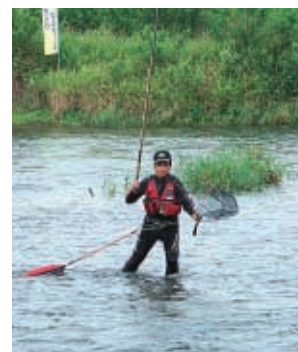
選手による決勝となりました。

決勝戦では、両者一步もゆがらずシーソーゲームを展開、

17匹を釣り上げた吉田選手が競り勝ち、大会出場5年目で初優勝を飾りました。

大会前夜の雨による増水で釣果が心配されましたが、今年は天然鮎も多く、予選では30匹以上釣り上げる選手もいて、大漁となりました。

各選手が釣った鮎は、社会福祉協議会へ寄付され、福祉施設等へ配られました。



優勝した吉田選手



左から、伊藤選手、吉田選手、大島選手、井辻選手

第29回きたうら水泳大会



元気に水しぶきをあげて

日頃の練習成果をおもわせるまっ黒に日に焼けた選手たちは、暑い日差しの中、仲間や家族の声援を受けながら元気いっぱい水しぶきを上げていました。

主な結果

最優秀団体賞 檜木内ペンギンズ
優秀団体賞 生保内ドルフィンズ
グッドマナー賞 きたうらアクアスポーツ少年団

優秀選手賞(敬称略)

渡辺勇樹・小林恒介・大木貴嗣・小林響平・
 橋本翼・坂井晴香・藤田陽菜・古村朱里・
 坂井美香・阿部瑞姫

第32回東北総合体育大会馬術競技開催

9月2日から3日間、第32回東北総合体育大会の馬術競技が角館町馬術競技場(雇用促進住宅奥)を会場に開催されました。

前日から降る雨の中、馬の様々な運動を演じる馬場馬術競技、いくつもの障害物を飛び越す障害飛越競技

などの各競技が成年男子、成年女子、少年の部に別れて行われました。



障害を跳ぶ姿は迫力満点

総合順位	優 勝 ：青森県	4 位	：秋田県
	準優勝 ：福島県	5 位	：岩手県
	3 位 ：宮城県	6 位	：山形県